2026 年 11 月 4 日
積水ハウス株式会社

団地内オーナー様宅の太陽光余剰電力とバス車庫の太陽光による電力で地域交通を運行

～住宅団地「みどり坂」において地域由来の再生可能エネルギーが地域の足である EV バス運行に関わる使用電力量を上回る～

広島市安芸区の住宅団地「みどり坂」において、2025 年 10 月から 2026 年 9 月までの 1 年間、同団地内の積水ハウスオーナー様宅から買い取った太陽光余剰電力「積水ハウスオーナーでんき」と、同団地内の地域交通である EV バス車庫に設置した太陽光発電設備（発電出力：40kW）の自家消費電力による地域由来の再生可能エネルギーの電力量が、当社の連結子会社であるスカイレールサービス株式会社が運営する同 EV 路線バスの充電および車庫・事務所で使用した電力量を上回りました。



2025 年 10 月から 2026 年 9 月までの 1 年間、地域由来の再生可能エネルギーによる電力量が使用量を 2 倍以上上回る

JR 瀬野駅と約 200m の高低差がある「みどり坂」では、1998 年から地域の交通を支えてきた「スカイレール」が 2024 年 4 月末に運行を終了し、その代替交通として EV 路線バスの運行が始まり、地域の生活交通として運行されています。なお、EV バスの運行業務については、当社の連結子会社であるスカイレールサービス株式会社から地元のバス会社である芸陽バス株式会社に委託して運行しています。

今回の取り組みは、交通手段を EV へ転換するだけでなく、その走行や運営に必要な電力を、可能な限り太陽光発電を設置した車庫で生み出した再生可能エネルギーに加えて、団地内から買い取った電力で賄うことを目指すものです。

住宅、エネルギー、モビリティをつなぐことで、地域の中でエネルギーを循環させる新たなまちの仕組みにつなげています。

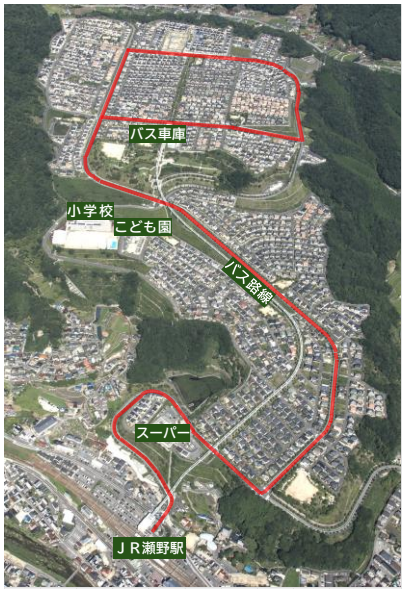
積水ハウスは 2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、今後も幅広い事業分野において、多面的に脱炭素化の取り組みを進めてまいります。

■広島市安芸区の住宅団地「みどり坂」について

広島市中心部から東へ約 13km、JR 瀬野駅の北側の丘陵地に広がる、約 2,300 世帯・約 7,000 人が暮らす住宅団地です。約 121ha の広大なまちには豊かな緑が広がり、子育て世代を中心に多くの家族が暮らしています。

JR 瀬野駅との間には最大で約 200m の高低差があり、駅と住まいを結ぶ交通は、通勤・通学や日々の暮らしを支える大切な地域インフラです。長年その役割を担ってきた「スカイレール」の運行終了後は、EV バス「みどり坂タウンバス」が地域の足を引き継いでいます。

自然を身近に感じながら暮らせる住環境と、日々の移動を支える交通が共存するみどり坂。さらに、住宅で生み出した太陽光電力を地域の EV バスの運行などに活用することで、「住まい」「エネルギー」「モビリティ」が地域の中でつながる、持続可能なまちづくりを進めています。



■EV バスを地域インフラとして活用

EV バスは、平常時の移動手段に加え、災害時の電源としての活用も想定されています。2025 年 8 月に広島市、みどり坂町内会自主防災会、スカイレールサービス株式会社及び芸陽バス株式会社の 4 者間で、災害時に EV バスの給電機能を活用するための協定を締結しており、避難所での携帯電話等の充電や、常時稼働が必要な医療機器を使用する住民の優先利用なども想定されています。

EV バスは、約 280kWh の蓄電池（全国平均の 1 世帯当たり電力消費量は約 326kWh／月[※1]）を搭載し、各座席 1 ヶ所（計 27 ヶ所）の USB コンセントを備えています。また、各 EV バスに 1 基（計 8 基）のインバーター[※2]（AC100V2000W の家庭用コンセント 3 口を設置）を準備しています。これにより、暖房機器や調理器具など消費電力の大きい機器への電力供給も可能となっています。





[※1]：令和 5 年度環境省調査によります。
[※2]：EV バス搭載の蓄電池 600V 直流を 100V 交流に変換しています。

■「積水ハウスオーナーでんき」について

固定価格買取制度（FIT 制度）の買取期間が満了した積水ハウスオーナー様の住宅で発電した太陽光余剰電力を買い取り、積水ハウスの事業用電力として活用する取り組みです。2019 年にサービスを開始し、住宅を建設される際のオーナー様の太陽光発電の導入を支援するとともに、積水ハウスグループの事業活動における再生可能エネルギーの利用拡大を進めています。

■スカイレールサービス株式会社について

1994 年に設立され、広島市安芸区のみどり坂において、1998 年の開業から 2024 年 4 月の運行終了まで、JR 瀬野駅と住宅団地を結ぶ交通システム「スカイレール」の運営を担ってきました。

現在は、地域の足を支える EV バス「みどり坂タウンバス」に関する事業をはじめ、旅客自動車運送事業、不動産事業、造園・外構事業、自然エネルギーによる発電や電気の供給・販売など、みどり坂の暮らしを支えるさまざまな事業を展開しています。